

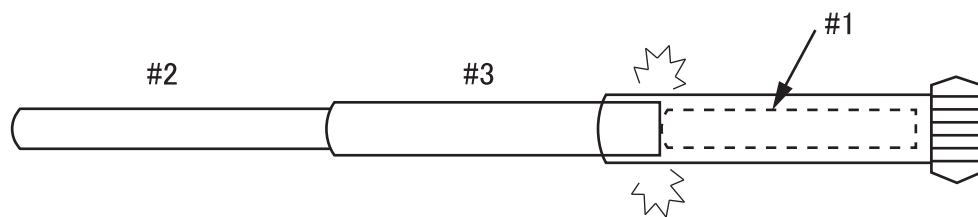
節落ちとは

玉の柄や振出竿の場合、伸ばす順番と縮める順番があり、伸ばす順番は一番上から、縮める順番は一番下からとなります。順番を間違えると破損の原因となります。

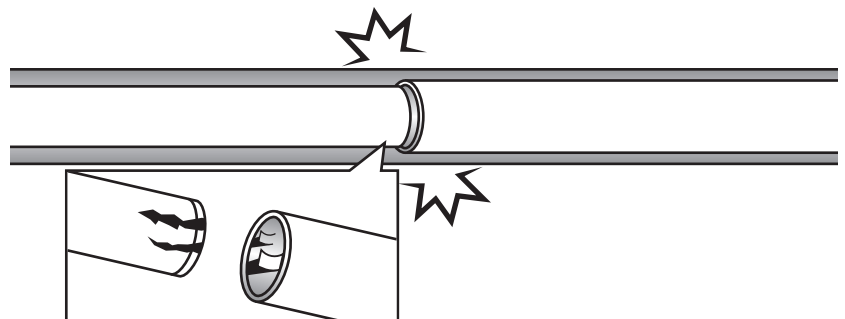
順番を間違えて、上の節が元竿側に入ってしまった状態を節落ち（中落ち）と言います。

節落ちの例

この図の場合、#1（一番細い節）が先に中へ入ってしまい、#3の下部が#1の先端に当たっている状態です。



節落ちした状態でそのまま仕舞うと、中で落ちてしまった上の節（#1 や #2 など）と下の節の下部が当たると上の節（細い方）が欠けたり割れたりします。また下の節（太い方）の内側が剥がれたり割れたりする原因にもなります。



節落ちを防ぐには

1. 竿のあわせが緩んでいないか確認し、使用中に何度かしめ直してください。
2. 伸ばす時は上の節（細い方）から、縮める時は下の節（太い方）の順番に出し入れをして下さい。

節落ちしてしまった場合

下栓を外して全ての節を下から抜き出し、再度下の節（太い方）から継ぎ直して下さい。
割れや欠け等が見受けられましたら、速やかに修理にお出しになることをお勧めいたします。